

論点メモ（案）

論点1 都市自治体における人工知能/RPA 導入の目的

- ・業務の効率化、高度化
- ・業務ミスの軽減（RPA⇒シナリオ通りに動くのでミスが起きにくい）
- ・サービス対応時間の拡充（EX：問い合わせサービスは業務時間外でも稼働している）
- ・人材育成期間の短縮化
- ・その他

論点2 人工知能を利用したい行政分野（現場のニーズから）

- ・ユースケースリストの策定・検証
- ・データの蓄積があるが、活用がほとんどされていない分野の探索
- ・現場のニーズが高い分野の探索

論点3 都市自治体の人工知能導入における法的課題

- ・個人情報保護法と目的外利用
- ・責任の所在
- ・AI が提案する内容の信頼性担保と、ブラックボックスに対する説明責任
- ・その他

論点4 人工知能の導入と行政組織の変革

- ・人工知能/RPA を始めとする ICT 技術導入による自治体業務の代替可能性
- ・人工知能技術の導入に伴う行政体制の構築・再編
- ・利用可能なデータの整備
- ・セキュリティー対策
- ・一部業務の独立行政法人化、業務委託、指定管理者
- ・広域連携
- ・ICT 技術を担える専門人材の育成
- ・AI 事業者と行政職員間のネットワークの構築
- ・首長（を含む幹部職員）の意識改革、庁内での合意形成

論点5 都市自治体における RPA の導入

- ・RPA 適用可能業務の特性
- ・RPA 導入についての限界・留意点
- ・RPA 導入による行政組織の変容
- ・AI と RPA の連携及についての今後の展望